

個人山行

福島県：西吾妻山

- ◆日程 2018年3月15日(土)～16日(日)
 ◆メンバー L：前田
 ◆天候 晴れ

3月も中旬、天気予報では春の陽気といわれている中での単独山スキー。前日は安達太良山で山スキーをしたが、強風のためにリフトが動かず、ピークこそ踏んだものの自力での登山となり体力も消耗していた。

今回は西吾妻山。グランデコスノーリゾートからゴンドラとリフトを乗継いで行く。今回も強風であったが、リフトが動いていて良かったと胸をなで下ろす。平日の山行のため登山者はあまりいない。スタート時には私を含め3組しかいなかった。山スキーに関していえば私だけである。少し寂しい気分となるが致し方ない。他の二組の登山者は前日からのトレースを辿っていくようだった。私はスキー板にシールを貼っているため、深雪でも構わなかった。地図を見て第一目標の西大嶺まで一直線で行こうと突き進む。スキー板はさすがに浮力があり、木々の間をすり抜けて目標に向かいます。

西大嶺を過ぎると今回一番の期待していた「スノーモンスター」略して「スノモン」！？(木が樹氷となり、更に雪で覆われてもの)が全くない！あるのは普通に「木」であった。悔しいがしょうがない。目を閉じ想像力を膨らませてイメージのみでガマンガマン。

西吾妻避難小屋に着くと、宿泊セットなどをデポし身軽な状態で西吾妻山の頂上へ。積雪で山頂標識も埋まっており、どこが頂上なのかはわからなかったが苦手なイメージを膨らませて頂上を満喫しました。

避難小屋に戻り、防寒のためにテントを張って寒さからしのぐ。それでも冷えが襲ってくるので、必殺の熱燗で体を温める。重くなるとわかっている酒は忘れることのできない必須アイテムなのです。いい気分で早めの就寝をして朝を迎えた。期待を込めて外の状態を確認する。「ダメだっ！！」ガスっている。風もある。楽しみにしていた予定のコースは辿れそうもない。本来ならば、反対斜面の天元台側に滑走し登り返してくる予定だったが、二十日平を経由して最短で下ることにした。視界が悪いうえ、霧雨状態。なおかつ雪の状態は悪く、南斜面のせいかベチャベチャ状態であった。二十日平コースは、基本的に木々の間を縫って滑るところが多く、1枚バーンの広く気持ちよくターンができる場所は少ない。それでも気持ちよく滑っているといつの間にかコースから外れている。その度に地図を見返してはコース修正をしたり、登り返したりと度々ありました。あらためて読図しながらの滑走は難しいと実感しました。

会で山スキーのメンバーが少ない中、今後のメンバー拡大に向けて皆に楽しさを伝え、会を盛り上げようと決意する私でした。

(記：前田)

CT：(15日) スキー場ゴンドラ乗車 8:45 - リフト頂上 9:10/9:30
 - 西大嶺 10:50/11:00 - 西吾妻避難小屋 11:30/11:50
 - 西吾妻山頂 12:10 - 西吾妻避難小屋 12:40

(16日) 西吾妻避難小屋 7:15 - 二十日平からスキー場ゲレンデ 10:30